

一 宗教民俗学の研究	池上廣正、	A5名著出版	一九二	三、〇〇〇	二五 曹洞宗近世墨蹟集成	清水琢道、	B5判419頁	二〇五	七、七〇〇
二 親鸞(浄土真宗の(KAMADO))	河出	A5書判新	二〇一	一、〇〇〇	二六 法句経からのメッセージ	高瀬広居、	B5判299頁	二〇〇	一、〇〇〇
三 貪欲に抗する社会の構築	駒井洋、	四六判石	二〇〇	一、九〇〇	二七 興禅護国論(傍訳)	西村恵信	A5判301頁	二〇〇	二、〇〇〇
四 心のこぼれ	妻正綱、	四六判文化	二〇〇	三、〇〇〇	二八 仏教的生き方大全書	上田紀行他、	A5判526頁	二〇〇	四、〇〇〇
五 光りのくにへ	井上隆雄、	A4判淡交	二〇〇	一、六五〇	二九 八宗総覧日本仏教編年大鑑	大久保良峻他、	B5判571頁	二〇〇	七、七〇〇
六 檀王法林寺袋中上人	信ヶ原雅文、石川登志雄、	A5判159頁	二〇〇	一、六五〇	三〇 聖パウロ	神から生まれた、アラノ・ドッコ、女子パウロ会	A5判302頁	二〇〇	一、六五〇
七 琉球と京都の架け橋	江口洌、	四六判山	二〇〇	一、六五〇	三一 キリシタンの祈り	木崎さと子、女子	B4判40頁	二〇〇	一、三〇〇
八 伊勢神宮の源流を探る	江口洌、	四六判新	二〇〇	一、六五〇	三二 路上からの復活	木崎さと子、女子	B4判194頁	二〇〇	一、三〇〇
九 近世宗教考古学の研究	松原典明	A5雄山閣	二〇〇	四、〇〇〇	三三 チベットの仏たち	田中公明、	四六判堂	二〇〇	一、〇〇〇
一〇 中世を歩く 京都の古寺	布教名言大辞典刊行会、	B5判412頁	一九四	五、五〇〇	三四 安楽伝授法	柄沢照寛、	四六判出	二〇〇	一、〇〇〇
一一 日本名僧奇傳列伝	饗庭孝男、	四六判淡交	二〇〇	一、三〇〇	三五 未公開近世住任生入伝	菊川和綴、	四六判出	一九二	一、三〇〇
一二 ドラマ維摩経 全三幕	菅沼晃、	四六判新	二〇〇	一、三〇〇	三六 江戸期庶民の信仰と死	牧達雄	A5判280頁	二〇〇	一、三〇〇
一三 チャチュンピ伝説	金仁顯、	四六判作	二〇〇	一、三〇〇	三七 良寛街道(写真集)	羽賀康夫、	A3判214頁	二〇〇	一、三〇〇
一四 キリスト教・500年の系譜	河野和男、	四六判舎	一九九	一、三〇〇	三八 日本の生死観大全書	立松和平、山折哲雄、	B5判608頁	二〇〇	一、三〇〇
一五 住吉大社事典	真弓常忠編、	四六判舎	一九九	一、三〇〇	三九 蓮如上人全集 全四巻	大谷暢順編、中央公論新社	B5判159頁	一九九	一、三〇〇
一六 あなただけの日蓮聖人	立松和平	B5判322頁	一九九	一、三〇〇	四〇 これから日本人が歩いていく道	ガエタノ・コンプリ、	B5判255頁	一九九	一、三〇〇
一七 仏教と差別	下西忠他、	四六判石	二〇〇	一、三〇〇	四一 水若酢神社	水若酢神社編、	四六判190頁	二〇〇	一、三〇〇
一八 ヴィッテンベルグの小夜啼鳥	藤代幸一、	四六判書	二〇〇	一、三〇〇	四二 歌に潜む仏教のこころ	長田暁二、	四六判190頁	二〇〇	一、三〇〇
一九 伊勢神宮 森と平和の神殿	川添登、	A5筑摩	二〇〇	二、七五〇	四三 大峯縁起	銭谷武平、	A5判282頁	二〇〇	一、三〇〇
二〇 真宗史論攷	平松合三、	A5同朋	二〇〇	二、〇〇〇	四四 金峯山寺史	首藤善樹、	四六判228頁	二〇〇	一、三〇〇
二一 これからの浄土宗勸募	浄土宗勸募・仏事案	A5同朋	二〇〇	四、〇〇〇	四五 神宮御柚山の	木村政生、	四六判228頁	二〇〇	一、三〇〇
二二 仏事案内 大全書	編集委員会	A5同朋	二〇〇	五、〇〇〇	四六 変遷に関する研究	瓜生津隆真、	A5判176頁	二〇〇	一、三〇〇
二三 興隆雜誌	明治仏教思想資料集成編纂委員会	A5同朋	二〇〇	五、〇〇〇	四七 脚注・真宗統経偈文全書	三編	B5判268頁	二〇〇	一、三〇〇
二四 創作戒名讀歌詩実践講座	茅野幸隆、	A5判351頁	二〇〇	五、〇〇〇	四八 臨濟宗香語実践講座	田原周仁、	B5判566頁	二〇〇	一、三〇〇
二五 越境する	武内房司、	A5判376頁	二〇〇	三、〇〇〇	四九 良寛禅師の真実相(改訂版)	長谷川洋三、	B5判358頁	二〇〇	一、三〇〇
二六 近代東アジアの民衆宗教									

〇七	男女平等教育阻害の要因 明治期女学校教育の考察	榎田真澄、 江原絢子	A5判 342頁	二〇九	三 西行(日本の旅人)	富士正晴、 紀野一義	四六判 171頁	二〇九	
〇六	高専教育の形成と展開	車勤、 伊敷豊	A5判 388頁	一九八	三二 日蓮(日本の旅人)	野間光辰、 秋元松代	四六判 181頁	二〇九	
〇九	江川淑夫 事業と人生の流儀	東、 こう	A5判 214頁	二〇四	三三 高山彦九郎(日本の旅人)	原口泉、 淡江交	四六判 191頁	二〇〇	
一〇	鈴木敏文がやっている 「お客様心理」の読み方	伊敷豊、 アサヒ	A5判 231頁	二〇五	三四 菅江真澄(日本の旅人)	原口泉、 淡江交	四六判 191頁	二〇〇	
一一	松下幸之助 「お客様心理」の読み方	松下幸之助研究室、 アサヒ	A5判 231頁	二〇六	三五 西郷どんとよばれた男	原口泉、 淡江交	四六判 220頁	二〇七	
一二	プロジェクト写作 富田芳和、武田ランダムハウス	富田芳和、 武田ランダムハウス	A5判 126頁	二〇八	大江戸知らないことはかり	NHKスペシャル 大江戸制作	四六判 256頁	二〇八	
一三	新説「江戸のキャラクター・ビジネス」 あなたの会社を救います	四洲幻冬舎 四六判 355頁	二〇一	一七 江戸無血開城の(NHK英雄) 深層	磯田道史他、 NHK出版	四六判 256頁	二〇八		
一四	帯の伊勢丹 模様の伊勢丹 飛田健彦、 四書刊行会	飛田健彦、 四書刊行会	四六判 288頁	二〇二	二六 水と商と大火の都	NHKスペシャル 大江戸制作	四六判 256頁	二〇八	
一五	脳につくつけて 並木秀陸、 明日香出版	並木秀陸、 明日香出版	四六判 232頁	二〇三	二七 宮本武蔵事典 剣聖・剣豪	加来耕三、 東京堂出版	四六判 357頁	二〇〇	
一六	脳につくつけて 並木秀陸、 明日香出版	並木秀陸、 明日香出版	四六判 232頁	二〇四	二八 邪馬台国と 教養の(日本史)	森田佛、 東京堂出版	四六判 250頁	一九九	
一七	負けない大人のケンカ術 和田秀樹、 祥伝社	和田秀樹、 祥伝社	四六判 254頁	二〇五	三〇 中世の内乱と社会	佐藤和彦編、 東京堂出版	A5判 600頁	二〇七	
一八	リーダーになる人の 二階堂武尊、 明日香出版	二階堂武尊、 明日香出版	四六判 254頁	二〇六	三一 日本中世合戦史の研究	新井孝重、 東京堂出版	A5判 442頁	二〇四	
一九	フランスの イドリス・アベルカン、 TAC出版	イドリス・アベルカン、 TAC出版	四六判 236頁	二〇七	三二 日本一の大大名と将軍さま 徳川家も気がつかなかった加賀百万石の江戸時代	山本博文、 グラフィック	四六判 293頁	二〇九	
二〇	天才学者が教える脳の秘密 麻生川静男、 河出書房新社	麻生川静男、 河出書房新社	四六判 175頁	二〇八	三三 鎌倉時代全史	小和田泰経、 カンゼン	四六判 293頁	二〇三	
二一	資治通鑑に学ぶリーダー論 サントラ・ナビディ、 TAC出版	サントラ・ナビディ、 TAC出版	四六判 288頁	二〇九	三四 龍馬を超えた男 小松帯刀	原口泉、 グラフィック	四六判 255頁	二〇八	
二二	世界最強人脈の知られざる裏側 水野和夫、 大田出版	水野和夫、 大田出版	四六判 232頁	一一〇	三五 武と愛の人 新島八重の生涯	新堀邦司、 里文出版	四六判 299頁	二〇三	
二三	経済学の大潮流 水野和夫、 大田出版	水野和夫、 大田出版	四六判 232頁	一一一	三六 西郷隆盛という生き方	桐野作人他、 里文出版	四六判 279頁	二〇三	
二四	経済学の常識をくつがえす資本主義の大転換 水野和夫、 大田出版	水野和夫、 大田出版	四六判 232頁	一一二	三七 明智光秀の乱	小林正信、 里文出版	四六判 279頁	二〇三	
二五	国論論 石倉雅男、 大田出版	石倉雅男、 大田出版	四六判 232頁	一一三	三八 天正十年六月政変 織田政権の成立と崩壊	関幸彦他、 清水書院	四六判 146頁	二〇九	
二六	貨幣経済と資本蓄積の理論 屋嘉宗彦、 青木書店	屋嘉宗彦、 青木書店	A5判 316頁	一一四	三九 戦国廃城紀行	澤宮優、 河出書房新社	四六判 800頁	二〇〇	
二七	マルクス経済学(新説) 近代経済学(学友)	湯本豪一、 国書刊行会	四六判 288頁	一一五	四〇 敗者の城を探る(河出文庫)	西股総生、 河出書房新社	文庫判 244頁	二〇九	
二八	説・円と日本経済 幕末から平成まで	辻村英之、 太田出版	B5判 306頁	一一六	四一 東国武将たちの戦国史	「軍事的視点から読み解く人物と作戦」	河出書房新社	四六判 300頁	二〇五
二九	おいしいコヒーの経済論 「キリマンジャロ」の苦い現実(増補版)	岩崎卓也、 高橋龍三郎、 朝倉書店	A5判 295頁	一一七	四二 渡来士とは何者だったか	武光誠、 河出書房新社	四六判 300頁	二〇五	
三〇	現代社会(現代の考古学) 考古学(考古学)	堤隆、 河出書房新社	A5判 295頁	一一八	四三 下級武士の日記でみる	永井義男、 河出書房新社	四六判 288頁	二〇六	
三一	旧石器時代 列島の考古学	関裕二、 廣済堂出版	B5判 127頁	一一九	四四 江戸の「性」と「食」	柳瀬勤介、 河出書房新社	四六判 166頁	二〇六	
三二	白村江の戦い(再検証2)	兵頭二十八、 祥伝社	四六判 247頁	一二〇	四五 えた非人 社会外の社会	金子拓、 河出書房新社	四六判 198頁	二〇六	
三三	日本史の謎は地政学で解ける	兵頭二十八、 祥伝社	四六判 247頁	一二一	四六 織田信長 不器用すぎた天下人	金子拓、 河出書房新社	四六判 198頁	二〇七	